



【二次案内】

2018 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三笠

大会テーマ 「ふるさと帰郷」
～地域の未来を創る子どもを育むコミュニティ・スクール～

開催日

平成 30 年

10 月 12 日(金)

参加費
無料

会場

■ 三笠市民会館 <全体会場・第 1 第 2 第 3 分科会>

■ 三笠市公民館 <第 4 分科会>

プログラム

※受付場所は、お申し込みいただいた分科会ごとです。会場を確認して、受付を行ってください。

9:00	10:00	12:00	13:30	14:00	15:15	16:30
受付 (各分科会場)	【分科会】 2 会場 4 分科会 各 3 発表の 計 12 実践	昼食・移動 【開会行事】	【基調講演】 東京大学大学院 教育学研究科 教授 秋田 喜代美 氏	【パネルディスカッション】 コーディネーター 文部科学省初等中等教育局視学委員 貝ノ瀬 滋氏 パネリスト 占冠村立占冠中央小学校長 森野 憲仁氏 三笠市山崎ワイナリー 山崎 太地氏 山口地域連携教育アドバイザー 長尾 彰氏 ゆめ☆まなびネット 学校支援コーディネーター 大谷裕美子氏	【閉会行事】	三笠市の小・中学生による 歓迎アトラクションを行います。
	分科会ごとの会場					

主催・共催

写真：北海道三笠高校
高校生レストラン

■主催 全国コミュニティ・スクール連絡協議会／文部科学省／三笠市教育委員会

■共催 北海道教育委員会

分科会

第 1 分科会 (会場)	「コミュニティ・スクールの効果的な導入」(市民会館 202 室)		
コーディネーター (助言者)	北海道科学大学 教授 出口 寿久 氏 (CS マイスター)		
発表テーマ	発表内容	発表者	
1	既存の取り組みを活かしたコミュニティ・スクールの導入	学校にとって良い仕組みにするために、既存の組織や取り組みを活用した CS 導入の方策を紹介します。	北海道市別市教育委員会 社会教育課兼学校教育課 参事 藤田 泰昭
2	地域と学校を結ぶ社会教育発のコミュニティ・スクール導入	地域総ぐるみで子どもの育ちに関わる仕組みづくりについて、事例を紹介します。	北海道土幌町教育委員会 生涯学習課 生涯学習・社会教育担当 社会教育主事 高橋 克磨
3	「ふるさと」の風土で育む人づくり・まちづくり」を目指す CS の導入	「とちぎ未来アシストネット」を基盤とした CS 導入方法と成果(教育の充実・地域活性化)を紹介します。	栃木県栃木市教育委員会 教育総務課 課長補佐 木村 信孝 大平中央小学校 校長 鈴木 廣志

第 2 分科会 (会場)	「コミュニティ・スクールで校種間連携」(市民会館 201 室)		
コーディネーター (助言者)	北海道小樽市立稲穂小学校 校長 田中 賢一 氏		
発表テーマ	発表内容	発表者	
1	公私連携と校種間連携方策	公立・私立を問わず全教育機関に CS を設置した全国初めての町の取組を紹介します。	北海道安平町教育委員会 生涯学習アドバイザー 豊島 滋 (文部科学省 CS マイスター)
2	中標津町の教育 CS と小中一貫教育	義務教育学校で、小中一貫教育と CS を一体的に推進する上でのポイントや取組の成果について紹介します。	北海道中標津町立計根別学園 教頭 近藤 啓之
3	CS を基盤とした小中一貫教育の推進 - 9 年間をつなぐ HQT ブランナー	『太東学園』の小中一貫教育、HQT フォーム(3 校職員・地域・保護者合同研修)、各校の取組・成果を発表します。	埼玉県久喜市立太東中学校 学校運営協議会会長 飯島祐紀夫 校長 村田 文雄

第 3 分科会 (会場)	「コミュニティ・スクールで広がる子どもの未来」(市民会館 101 室)		
コーディネーター (助言者)	北海道 CS アドバイザー 中田 美知子 氏		
発表テーマ	発表内容	発表者	
1	家庭・地域と協働し「ふるさと三笠」を愛する子を育む CS の歩み	家庭・地域と共に歩み、学びの向上をめざした CS 導入 6 年間の成果と課題を紹介します。	北海道三笠市立三笠中学校 校長 杉原 賢
2	地域と学校の未来を『つなぐ』事務職員	CS 先進地の光市において、学校事務職員にどんな役割が果たせるか、3 年間にわたって研究した成果を紹介します。	山口県光市教育研究会事務部会 浅江小学校 事務主任 稗田 珠美 山口地域連携教育アドバイザー 木本 育夫
3	児童生徒の市民性を育むコミュニティ・スクールの展開	地域社会に関わろうとする児童生徒の意欲や行動力を高める学校・地域の取組を中心に春日市の実践を紹介します。	福岡県春日市教育委員会 地域教育課指導主幹 平石 信敏 春日市自治会連合会会長 秋枝 恵美

第 4 分科会 (会場)	「高校・特別支援学校におけるコミュニティ・スクール」(公民館 3 号室)		
コーディネーター (助言者)	高知県黒潮町教育委員会教育長 畦地 和也 氏 (CS マイスター)		
発表テーマ	発表内容	発表者	
1	「高校であるからこそ」の導入のねらいと今後の具体的な方向性について	スタート時の考え方や捉え方をどう整理しその仕組みをどう活用するのか、今後の具体的な方向性を導きます。	北海道寿都高等学校 校長 澤田 慎也
2	防災型コミュニティ・スクールの推進について	防災及び災害時の対応等に視点を置いた地域連携を推進するための取組について紹介します。	熊本県教育庁教育指導局高校教育課 指導主事 森元 博徳
3	特別支援学校における学校運営協議会の取組 ～こないいいことありました！～	学校と地域の双方向の援助による、新たな地域の創造について発表します。	京都府京都市西総合支援学校 校長 富家 直樹 学校運営協議会副会長 富田千果子

基調講演

演題「子どもたちが創る地域の未来～質の高い学びとコミュニティ」

講師 東京大学大学院教育学研究科教授 秋田 喜代美 氏



学びの向上へ向けたCSの役割や地域創生の方策について、秋田先生の経験や具体的事例を交えながらご講演いただきます。

経歴

大阪府生まれ。東京大学文学部を卒業後、銀行員、専業主婦を経て、東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士（教育学）、立教大学文学部助教授を経て1999年より東京大学大学院教育学研究科勤務。現在同附属発達保育実践政策学センターセンター長。OECDイノベーションスクールネットワーク研究総括。
著書 「社会情動的スキル 学びに向かう力」(共監訳 明石書店 2018年)
「岩波講座 教育変革への展望5巻 学びとカリキュラム」(共編著 岩波書店 2017年)「学校教育と学習の心理学」(共著 岩波書店 2015年)

パネルディスカッション

CSの推進課題と今後のあり方について皆さんと一緒に考えましょう

【テーマ】「地域の未来を創る子どもを育むコミュニティ・スクール」

(コーディネーター)

文部科学省初等中等教育局視学委員

貝ノ瀬 滋 氏

(パネリスト)

占冠村立占冠中央小学校長

森野 憲仁 氏

三笠市山崎ワイナリー

山崎 太地 氏

山口市教育委員会 地域連携教育アドバイザー

長尾 彰 氏

ゆめ☆まなびネット学校支援コーディネーター

大谷 裕美子 氏



地域の方を講師とした小・中合同の「田植え体験」



ジオパークを教材に専門家を講師とした中学校2年生の学習活動

北海道の鉄道発祥の歴史あるまち、日本ジオパークに認定された自然豊かなまち、北海道で最初にコミュニティ・スクールを導入した先進的なまちである三笠市で、コミュニティ・スクールについて、そして、子どもたちの未来について語り合いませんか。



三笠の鉄道で活躍した「弁慶号」(明治十三年)

参加申込方法



■参加希望の方は、文部科学省ホームページからお申し込みください。

地域とともにある学校づくり推進フォーラム

■申込開始 **7月27日(金) 14時**
※先着定員(500人)となり次第、締め切らせていただきます。

昼食

■弁当(お茶付1,000円)の予約販売を行います。参加申込みの際に、希望の有無をお知らせください。**※会場周辺の飲食店数は多くありません。**

会場図



■三笠市民会館

三笠市幸町13
TEL: 01267-2-3149
分科会・全体会

■三笠市公民館

三笠市若草町404番地
TEL: 01267-2-2197
分科会

【全国コミュニティ・スクール連絡協議会役員】(平成30年4月1日現在)

○会長 京都市教育長 在田 正秀

○副会長 由利本荘市教育長 佐々田 亨三

【支部長】

・北海道支部長 北広島市教育長 吉田 孝志
・関東支部長 三鷹市教育長 高部 明夫
・中部支部長 岐阜市教育長 早川三根夫
・中国支部長 岡山市教育長 菅野 和良
・九州・沖縄支部長 春日市教育長 山本 直俊

・東北支部長 由利本荘市教育長 佐々田 亨三
・甲信越支部長 上越市教育長 野澤 朗
・近畿支部長 京都市教育長 在田 正秀
・四国支部長 東みよし町教育長 川原 良正

ジオパークツアーを開催(翌日10/13)

“さあ行こう！一億年時間旅行へ”

【予約・問合せ】 三笠ジオパーク推進協議会
TEL 01267-2-3997

■三笠市の観光や特産品などの情報は、三笠市役所ホームページをご覧ください。



【お問い合わせ先】 三笠市教育委員会学校教育課 TEL (01267) 2-2197

〒068-2193 北海道三笠市若草町404番地

Email: gakkou@city.mikasa.hokkaido.jp